

生体試料の採取・保存について

事前に以下の注意事項を確認の上、生体試料の採取・保存をお願いいたします。
なお、ご不明な点は試料送付先(広島大学大学院医歯薬学総合研究科法医学)まで、ご連絡ください。

1) 試料保存容器：

- ・血液凝固剤などは、血中濃度に影響を与えるおそれがあるため、採取機材・保存容器ともに添加剤の使用していないものを使用すること。
- ・試料保存容器には、ガラス製アルミキャップ付試料ビン（容量 6cc 程度、例えば、WHEATON（商品名）など）を使用する（用意できない場合には、各病院で使用している容器でも可）。
- ・採取した試料は、試料容器の 6～7 割程度の容量を入れる。

2) 試料の採取方法：

- ・個々の試料保存容器に患者名、日時、試料の種類（血清、尿など）を明記した後、試料を入れる。試料の取り違えがないよう、細心の注意を払う。
 - ・試料は、再検査が可能のように、必ず 2 本に分けて保存する。
- 血液：定法に従い、採取した血液を試験管（プレインスピッツ：抗凝固剤や血清分離剤、凝固促進剤の入っていないもの）2 本に 10cc ずつ採り、10 分程度室温で放置して十分にフィブリンを析出させる。その後、遠心分離して得られた血清を試料保存容器 2 本に入れる。
- 尿：そのまま前述の試料保存容器（2 本）に採取する。一時点の尿か、1 時間の尿か、1 日の蓄尿かを、容器および別紙「分析のための基本データ記入用紙」の検査試料備考へ明記する。
- 胃内容：胃洗浄をする際は、微温湯や生食を入れる前に、胃内容物を吸引し、そのまま前述の試料保存容器（2 本）に採取する。
- その他、死亡例の臓器等については別途ご相談ください。

3) 保存方法：

- ・ -20°C 以下で凍結保存する（通常の冷凍庫（ -5°C 前後）で保存しても良いが、 -20°C 以下が望ましい）。

4) 採取時期：

- ・入院時の試料を採取する。また、症状の変化が見られた時の他、臨床検査のための採血時、血液浄化法を行った時の前後などに採取する。試料採取までに気管内挿管等で薬物を使用した場合等も含め、採取時の状況に関して特記すべきことがあれば、別紙「分析のための基本データ記入用紙」の 7) その他または検査試料内容の備考欄に明記する。

5) その他：

- ・現場に残された中毒原因物質があれば保存しておく。
- ・採取した試料の汚染(contamination)に十分注意する。

6) 送付方法：

- ・他の試料への汚染がないように、個々の試料ごとに分別包装することが望ましい（密閉できるチャック付きのビニール袋に入れるなど）。
- ・試料の送付は、病院間メール便（SRL）や民間の宅配便（着払い）を利用する。宅配便を利用する際は、“冷凍”での送付を指定すること。土、日、祝祭日の受け取りができないため、週初めに発送する。
- ・「急性中毒症例の発生連絡の受領および症例番号のお知らせ」と「分析のための基本データ記入用紙」をホッチキス止めし、必ず同封する。

7) 送付先：

〒734-8551 広島市南区霞一丁目 2 番 3 号
広島大学大学院医歯薬学総合研究科法医学 屋敷幹雄
TEL:082-257-5171 FAX:082-257-5174

患者様への説明書

1. この研究の目的

この研究は、「化学物質リスク評価におけるヒトデータの利用に関する研究」という名称で、国（厚生労働省）の研究補助金をうけ、全国の多くの医療機関が共同しておこなっている研究です。

さまざまな毒物や薬物による急性中毒はひじょうに多い疾患ですが、ひとつひとつの化学物質の危険性を正確に知るのには簡単なことではありません。従来は、動物実験による毒性値（50%致死量など）を用いてきましたが、動物とヒトでは中毒のおこり方が違います。さらに、近年では動物愛護の観点から、動物を使用した毒性実験は必要最小限にとどめられています。

そこで、不幸にして発生した中毒事故のひとつひとつを科学的に正確にしらべ、その成績を積み重ねることによって、ヒトへの危険性の評価や中毒におちいったさいの治療法の開発に役立てることが国際的に行われています。日本でも、日本中毒情報センターを中心に、そうした研究のプロジェクトが発足し、この病院もそれに協力しています。この研究は、病院での診断や治療に役立つだけでなく、国の保健行政の政策決定、企業における化学物質の安全管理、一般商品の改良の指導などにも波及的効果が期待されます。

2. この研究の方法

この研究には、毒物や薬物による急性中毒がおこった患者様に参加をお願いしています。ご依頼することは、以下の三つです。

- 1) 患者様から採血し、血液試料のなかの中毒原因物質を精密な化学分析法によって検査します。採血量は1回に 20 ml で、通常は1回～3回ですが、それ以上の採血が必要になる場合は改めてご依頼をいたします。
- 2) 血液以外に、嘔吐物、胃洗浄の排液、尿などの排泄物中の化学物質も必要に応じて検査させていただきますが、こちらは治療の途中で自然に排泄されるものなので、患者様に身体的負担はかかりません。
- 3) 今回の病気がおこった経過、種々の検査や治療についての情報（つまり、カルテに記載された内容のすべて）のうちで、研究に必要なものだけを一定の書式にもとづいて、私どもから日本中毒情報センターに報告します。

提供された血液および排泄物等については、この病院と、他の専門的な分析施設（おもに大学の研究室）において化学分析をおこない、中毒原因物質の特定と濃度の精密測定をおこないます。そして、カルテに記載された診療経過の情報と突き合わせて、さまざまな詳しい解析をおこないます。

3. この研究に参加することにより、予想される危険性あるいは不利益

採血しますので、それによる痛み、身体へ負担があります。ただ、採血法、採血量ともに、通常の医療でおこなわれる場合とくらべて、ほとんど違いはありません。また、参加されることによって、何か特殊な薬を使用したり、特別な治療法をおこなうということもありません。

4. この研究に参加することにより、予想される利益

通常の診療では実施できない精密な化学分析法を使用しますので、中毒原因物質の種類および量が確定される可能性は高くなります。また、ごく一部の物質については、分析結果が治療の途中にわかりますから、治療法の選択に役立つ可能性もあります。ただし、多くの場合は、何カ月もあとに分析結果が出ますので、直接に診療に役立つことは少ないとお考えください。

5. この研究に参加しない場合、あるいは、途中で参加を取り止めた場合でも、不利益な扱いをうけることはありません

あなたがこの研究への参加をお断りになっても、なんら不利益をこうむることはありません。また、いったん参加に同意され、研究が開始されたあとでも、研究への参加を取り止めることができます。その場合も、治療はかわりなく続けられます。

6. 研究への参加を中止させていただくことがあります

いったん研究への参加が決まったあとでも、以下の場合は研究への参加を中止させていただきます。

- 1) あなたが研究参加の中止を希望された場合
- 2) 研究に参加すべきでないことが判明した場合
- 3) 研究が中止された場合

7. 個人記録や検査結果などの秘密が漏れることはありません

この研究では、カルテに記載された内容の一部や、検査結果などの重要な個人情報、日本中毒情報センターに報告され、複数の研究者によってさまざまな形の研究に利用されます。しかし、こうした情報が他に漏れないよう、試料や情報には暗号化された識別番号が付され、その情報が誰のものであるか分からないようにします。さらに、報告書の原本は中毒情報センターのデータマネジメント委員会が厳重に保管するだけでなく、作成されたデータベースの閲覧も厳しく制限されています。

この研究結果は、報告書、論文、学会報告などさまざまな形で公表されますが、そのさいに個人の特定が可能であったり、あるいは推定できるような情報はいっさい除かれます。

したがって、研究目的で収集される情報から個人のプライバシーに関する情報が漏れることはありません。

8. 経済的負担が発生することはありません

血液や各種試料の化学分析には相当の費用がかかりますが、それらはすべて研究資金でまかなわれるため、あなたに負担が生じることはありません。

9. この研究の担当者と連絡先

・研究全体の総括的な責任者

研究代表者：杉本 侃 (財)日本中毒情報センター 理事長

所属先住所：〒305-0005 茨城県つくば市天久保1丁目2番地

研究実施責任者：吉岡敏治 大阪府立急性期・総合医療センター医務局長

所属先住所：〒558-8558 大阪府大阪市住吉区万代東3-1-56

・この病院における担当者

愛媛大学医学部附属病院 救急部

〒791-0295 愛媛県温泉郡重信町大字志津川

担当医師 前川聡一 (救急医学・助手)

協力医師 白川洋一 (救急医学・教授)

TEL 089-960-5722 (昼間、夜間とも)

同意書

医療機関名 _____

担当医師名 _____

私は、担当者から「化学物質リスク評価におけるヒトデータの利用に関する研究」に関する下記事項について、十分な説明を受けました。

- 1) この研究の目的および方法
- 2) この研究に参加することによって予想される利益および不利益
- 3) この研究に参加しなくても治療上の不利益を被らないこと
- 4) この研究に参加したあとも、随時これを撤回することができること
- 5) 患者の人権が厳格に守られること
- 6) この研究に参加することによって経済的負担が生じないこと

こうした説明を十分に理解し、納得したうえで、この研究に被験者として参加することに同意します。

_____ 年 月 日

本人 氏名 _____
生年月日 _____ 年 月 日 (_____ 歳)
住所 _____

代理人 氏名 _____ (本人との関係; _____)
生年月日 _____ 年 月 日 (_____ 歳)
住所 _____

説明医師 氏名 _____
立会者 氏名 _____

上記の氏名は、いずれも、「署名」するか「記名+捺印」とする。
立会者は必ずしも不可欠ではない。

同意撤回書

医療機関名 _____

担当医師名 _____

私は、「化学物質リスク評価におけるヒトデータの利用に関する研究」について説明を受け、 _____ 年 _____ 月 _____ 日にこの研究の被験者として参加することに同意しましたが、これを撤回します。

_____ 年 _____ 月 _____ 日

本人 氏名 _____
生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (_____ 歳)
住所 _____

代理人 氏名 _____ (本人との関係; _____)
生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (_____ 歳)
住所 _____

上記の氏名は、いずれも、「署名」するか「記名+捺印」とする。

表5 協力依頼文書発送先一覧(258施設、都道府県別)

| | 都道府県 | | 施設名 |
|----|------|---|----------------------|
| 1 | 北海道 | ◎ | 札幌医科大学医学部付属病院 |
| 2 | | ○ | 旭川赤十字病院 |
| 3 | | ○ | 帯広厚生病院 |
| 4 | | ○ | 国立札幌病院 |
| 5 | | ○ | 市立釧路総合病院 |
| 6 | | ○ | 市立札幌病院 |
| 7 | | ○ | 市立函館病院 |
| 8 | | ○ | 総合病院北見赤十字病院 |
| 9 | | | 札幌徳州会病院 |
| 10 | 青森県 | ○ | 青森県立中央病院 |
| 11 | | ○ | 八戸市立市民病院 |
| 12 | 岩手県 | ◎ | 岩手医科大学病院 |
| 13 | | ○ | 県立大船渡病院 |
| 14 | | ○ | 県立久慈病院 |
| 15 | | | 岩手県立磐井病院 |
| 16 | 宮城県 | ○ | 国立仙台病院 |
| 17 | | ○ | 仙台市立病院 |
| 18 | | ○ | 古川市立病院 |
| 19 | | | 石巻市夜間急患センター |
| 20 | | | 東北厚生年金病院 |
| 21 | | | 東北大学医学部附属病院 |
| 22 | 秋田県 | ○ | 秋田赤十字病院 |
| 23 | 山形県 | ○ | 公立置賜総合病院 |
| 24 | | ○ | 山形県立中央病院 |
| 25 | | | 山形市立病院済生館 |
| 26 | | | 山形大学医学部附属病院 |
| 27 | | | 若宮病院 |
| 28 | 福島県 | ○ | いわき市立総合磐城共立病院 |
| 29 | | ○ | (財)太田総合病院附属太田西ノ内病院 |
| 30 | | ○ | 総合会津中央病院 |
| 31 | | | (財)脳神経疾患研究所附属総合南東北病院 |
| 32 | | | 福島県立医科大学医学部附属病院 |
| 33 | 茨城県 | ○ | 茨城西南医療センター病院 |
| 34 | | ○ | 国立水戸病院 |
| 35 | | ○ | 総合病院土浦協同病院 |
| 36 | | ○ | 筑波メディカルセンター病院 |
| 37 | | | 県南病院 |
| 38 | | | 総合病院取手協同病院 |
| 39 | | | 筑波大学附属病院 |
| 40 | | | 東京医科大学霞ヶ浦病院 |
| 41 | 栃木県 | ○ | 足利赤十字病院 |
| 42 | | ○ | 大田原赤十字病院 |
| 43 | | ○ | 済生会宇都宮病院 |
| 44 | | ○ | 自治医科大学附属病院 |
| 45 | | ○ | 独協医科大学病院 |
| 46 | 群馬県 | ◎ | 前橋赤十字病院 |
| 47 | | ○ | 国立高崎病院 |
| 48 | | | 群馬大学医学部附属病院 |
| 49 | | | 日高会日高病院 |
| 50 | 埼玉県 | ◎ | 埼玉医科大学総合医療センター |

◎: 高度救命救急センター

○: 救命救急センター

| | 都道府県 | | 施設名 |
|-----|------|---|-------------------------|
| 51 | 埼玉県 | ○ | 川口市立医療センター |
| 52 | | ○ | さいたま赤十字病院 |
| 53 | | ○ | 獨協医科大学越谷病院 |
| 54 | | ○ | 深谷赤十字病院 |
| 55 | | ○ | 防衛医科大学校病院 |
| 56 | | | 医療法人社団 堀ノ内病院 |
| 57 | | | 春日部市立総合病院 |
| 58 | | | 北里研究所メディカルセンター病院 |
| 59 | | | 自治医科大学大宮医療センター |
| 60 | | | 本庄総合病院 |
| 61 | 千葉県 | ◎ | 千葉県救急医療センター |
| 62 | | ○ | 亀田総合病院 |
| 63 | | ○ | 国保直営総合病院君津中央病院 |
| 64 | | ○ | 国保松戸市立病院 |
| 65 | | ○ | 総合病院国保旭中央病院 |
| 66 | | ○ | 成田赤十字病院 |
| 67 | | ○ | 日本医科大学付属千葉北総病院 |
| 68 | | ○ | 船橋市立医療センター |
| 69 | | | 千葉大学医学部 |
| 70 | | | 帝京大学医学部附属市原病院 |
| 71 | 東京都 | ◎ | 杏林大学医学部附属病院 |
| 72 | | ◎ | 日本医科大学附属病院 |
| 73 | | ○ | 青梅市立総合病院 |
| 74 | | ○ | 公立昭和病院 |
| 75 | | ○ | 国立病院東京医療センター |
| 76 | | ○ | 国立病院東京災害医療センター |
| 77 | | ○ | 昭和大学病院 |
| 78 | | ○ | 駿河台日本大学病院 |
| 79 | | ○ | 聖路加国際病院 |
| 80 | | ○ | 帝京大学医学部附属病院 |
| 81 | | ○ | 東京医科大学八王子医療センター |
| 82 | | ○ | 東京医科大学病院 |
| 83 | | ○ | 東京女子医科大学病院 |
| 84 | | ○ | 東京女子医科大学附属第二病院 |
| 85 | | ○ | 東邦大学医学部附属大森病院 |
| 86 | | ○ | 都立広尾病院 |
| 87 | | ○ | 都立府中病院 |
| 88 | | ○ | 都立墨東病院 |
| 89 | | ○ | 日本医科大学附属多摩永山病院 |
| 90 | | ○ | 日本大学医学部附属板橋病院 |
| 91 | | ○ | 武蔵野赤十字病院 |
| 92 | | | 医療法人社団 真清会 東京北部病院 |
| 93 | | | 慶応義塾大学医学部 |
| 94 | | | 国立国際医療センター |
| 95 | | | 順天堂大学医学部附属順天堂医院 |
| 96 | | | 東京医科歯科大学医学部附属病院 |
| 97 | | | 東京慈恵会医科大学付属病院 |
| 98 | | | 東京大学医学部附属病院 |
| 99 | | | 東京労災病院 |
| 100 | | | 日本赤十字社医療センター |
| 101 | 神奈川県 | ◎ | 東海大学医学部附属病院 |
| 102 | | ◎ | 横浜市立大学医学部附属病院市民総合医療センター |

◎: 高度救命救急センター

○: 救命救急センター

| | 都道府県 | | 施設名 |
|-----|------|---|---------------------|
| 103 | 神奈川県 | ○ | 北里大学病院 |
| 104 | | ○ | 国立横浜病院 |
| 105 | | ○ | 昭和大学藤が丘病院 |
| 106 | | ○ | 聖マリアンナ医科大学病院 |
| 107 | | ○ | 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 |
| 108 | | | 湘南鎌倉総合病院 |
| 109 | | | 茅ヶ崎徳州会総合病院 |
| 110 | | | 日本医科大学付属第二病院 |
| 111 | | | 横浜州市市民病院 |
| 112 | 新潟県 | ○ | 長岡赤十字病院 |
| 113 | | ○ | 新潟県立中央病院 |
| 114 | | ○ | 新潟市民病院 |
| 115 | 富山県 | ○ | 厚生連高岡病院 |
| 116 | | ○ | 富山県立中央病院 |
| 117 | 石川県 | ○ | 石川県立中央病院 |
| 118 | | ○ | 公立能登総合病院 |
| 119 | | | 金沢医科大学 |
| 120 | | | 公立つるぎ病院 |
| 121 | 福井県 | ○ | 福井県立病院 |
| 122 | | | 福井医科大学医学部附属病院 |
| 123 | | | 福井大学医学部附属病院 |
| 124 | 山梨県 | ○ | 山梨県立中央病院 |
| 125 | 長野県 | ○ | 佐久総合病院 |
| 126 | | ○ | 昭和伊南総合病院 |
| 127 | | ○ | 長野赤十字病院 |
| 128 | | | 飯山赤十字病院 |
| 129 | | | 伊那中央病院 |
| 130 | 岐阜県 | ○ | 大垣市民病院 |
| 131 | | ○ | 岐阜県厚生農業組合連合会中濃病院 |
| 132 | | ○ | 県立岐阜病院 |
| 133 | | ○ | 県立多治見病院 |
| 134 | | ○ | 総合病院高山赤十字病院 |
| 135 | | | 岐阜赤十字病院 |
| 136 | 静岡県 | ○ | 県西部浜松医療センター |
| 137 | | ○ | 静岡済生会総合病院 |
| 138 | | ○ | 静岡赤十字病院 |
| 139 | | ○ | 順天堂大学医学部附属順天堂伊豆長岡病院 |
| 140 | | ○ | 聖隷三方原病院 |
| 141 | | | 静岡県立総合病院 |
| 142 | | | 富士病院 |
| 143 | 愛知県 | ◎ | 愛知医科大学附属病院 |
| 144 | | ○ | 安城更生病院 |
| 145 | | ○ | 岡崎市民病院 |
| 146 | | ○ | 国立名古屋病院 |
| 147 | | ○ | 小牧市民病院 |
| 148 | | ○ | 社会保険中京病院 |
| 149 | | ○ | 豊橋市民病院 |
| 150 | | ○ | 名古屋掖済会病院 |
| 151 | | ○ | 名古屋第一赤十字病院 |
| 152 | | ○ | 名古屋第二赤十字病院 |
| 153 | | ○ | 藤田保健衛生大学病院 |
| 154 | 三重県 | ○ | 三重県立総合医療センター |

◎:高度救命救急センター

○:救命救急センター

| | 都道府県 | | 施設名 |
|-----|------|---|---------------------|
| 155 | 三重県 | ○ | 山田赤十字病院 |
| 156 | | | 名張市立病院 |
| 157 | 滋賀県 | ○ | 大津赤十字病院 |
| 158 | | ○ | 済生会滋賀県病院 |
| 159 | | ○ | 長浜赤十字病院 |
| 160 | | | 滋賀医科大学 |
| 161 | 京都府 | ○ | 京都第一赤十字病院 |
| 162 | | ○ | 京都第二赤十字病院 |
| 163 | | ○ | 国立京都病院 |
| 164 | | | 京都市きづ川病院 |
| 165 | | | 済生会京都府病院 |
| 166 | | | 舞鶴赤十字病院 |
| 167 | 大阪府 | ◎ | 関西医科大学附属病院 |
| 168 | | ◎ | 大阪大学医学部附属病院救命救急センター |
| 169 | | ○ | 大阪市立総合医療センター |
| 170 | | ○ | 大阪府三島救命救急センター |
| 171 | | ○ | 大阪府立急性期・総合医療センター |
| 172 | | ○ | 大阪府立千里救命救急センター |
| 173 | | ○ | 大阪府立泉州救命救急センター |
| 174 | | ○ | 大阪府立中河内救命救急センター |
| 175 | | ○ | 近畿大学医学部附属病院 |
| 176 | | ○ | 国立大阪病院 |
| 177 | | | 大阪市立大学医学部附属病院 |
| 178 | | | 岸和田市民病院 |
| 179 | | | (財)田附興風会医学研究所北野病院 |
| 180 | | | 淀川キリスト教病院 |
| 181 | 兵庫県 | ○ | 神戸市立中央市民病院 |
| 182 | | ○ | 県立姫路循環器病センター |
| 183 | | ○ | 公立豊岡病院但馬救急センター |
| 184 | | ○ | 兵庫医科大学病院 |
| 185 | | ○ | 兵庫県災害医療センター |
| 186 | | | 有馬病院 |
| 187 | | | 神戸大学 |
| 188 | | | 兵庫県立加古川病院 |
| 189 | | | 兵庫県立西宮病院 |
| 190 | 奈良県 | ◎ | 奈良県立医科大学附属病院 |
| 191 | | ○ | 近畿大学医学部奈良病院 |
| 192 | | ○ | 県立奈良病院 |
| 193 | 和歌山県 | ○ | 日本赤十字社和歌山医療センター |
| 194 | | ○ | 和歌山県立医科大学附属病院 |
| 195 | 鳥取県 | ○ | 鳥取県立中央病院 |
| 196 | | | 鳥取大学医学部附属病院 |
| 197 | 島根県 | ○ | 島根県立中央病院 |
| 198 | | | 大田市立病院 |
| 199 | 岡山県 | ◎ | 川崎医科大学附属病院 |
| 200 | | ○ | 岡山赤十字病院 |
| 201 | | ○ | 津山中央病院 |
| 202 | | | 国立病院岡山医療センター |
| 203 | 広島県 | ○ | 国立病院呉医療センター |
| 204 | | ○ | 県立広島病院 |
| 205 | | ○ | 広島市立広島市民病院 |
| 206 | | | JA広島総合病院 |

◎: 高度救命救急センター

○: 救命救急センター

| | 都道府県 | | 施設名 |
|-----|------|---|----------------|
| 207 | 広島県 | | 公立三次中央病院 |
| 208 | | | 国立療養所広島病院 |
| 209 | | | 中国労災病院 |
| 210 | | | 広島市立安佐市民病院 |
| 211 | | | 広島赤十字・原爆病院 |
| 212 | | | 広島大学医学部附属病院 |
| 213 | | | 福山市民病院 |
| 214 | 山口県 | ◎ | 山口大学医学部附属病院 |
| 215 | | ○ | 国立岩国病院 |
| 216 | | ○ | 山口県立中央病院 |
| 217 | | | 国立下関病院 |
| 218 | | | 山口赤十字病院 |
| 219 | 徳島県 | ○ | 徳島県立中央病院 |
| 220 | | ○ | 徳島赤十字病院 |
| 221 | | | 徳島大学 |
| 222 | 香川県 | ○ | 香川医科大学医学部附属病院 |
| 223 | | ○ | 香川県立中央病院 |
| 224 | | | 高松赤十字病院 |
| 225 | 愛媛県 | ○ | 愛媛県立中央病院 |
| 226 | | ○ | 愛媛県立新居浜病院 |
| 227 | | ○ | 市立宇和島病院 |
| 228 | | | 愛媛大学医学部 |
| 229 | 高知県 | ○ | 高知赤十字病院 |
| 230 | | | 高知県立中央病院 |
| 231 | 福岡県 | ◎ | 久留米大学病院 |
| 232 | | ○ | 飯塚病院 |
| 233 | | ○ | 北九州市立八幡病院 |
| 234 | | ○ | 北九州総合病院 |
| 235 | | ○ | 済生会福岡総合病院 |
| 236 | | ○ | 福岡大学病院 |
| 237 | | | 九州厚生年金病院 |
| 238 | | | 救命救急九州研修所 |
| 239 | | | 国立病院九州医療センター |
| 240 | | | 産業医科大学病院 |
| 241 | | | 福岡青洲会病院 |
| 242 | 佐賀県 | ○ | 佐賀県立病院好生館 |
| 243 | | | 佐賀医科大学医学部附属病院 |
| 244 | 長崎県 | ○ | 国立病院長崎医療センター |
| 245 | 熊本県 | ○ | 熊本赤十字病院 |
| 246 | | ○ | 国立熊本病院 |
| 247 | | | 熊本市民病院 |
| 248 | | | 公立玉名中央病院 |
| 249 | | | 公立多良木病院 |
| 250 | 大分県 | ○ | 大分市医師会立アルメイダ病院 |
| 251 | 宮崎県 | ○ | 県立延岡病院 |
| 252 | | ○ | 県立宮崎病院 |
| 253 | | | 宮崎善仁会病院 |
| 254 | 鹿児島県 | ○ | 鹿児島市立病院 |
| 255 | | | 曾於郡医師会立病院 |
| 256 | 沖縄県 | ○ | 沖縄県立中部病院 |
| 257 | | | 沖縄県立那覇病院 |
| 258 | | | 沖縄県立北部病院 |

◎: 高度救命救急センター

○: 救命救急センター

表6 協力受諾施設一覧(59施設、都道府県別)

| | 都道府県 | | 施設名 |
|----|------|---|---------------------|
| 1 | 岩手県 | ◎ | 岩手医科大学附属病院 |
| 2 | 山形県 | | 山形大学医学部附属病院 |
| 3 | | | 若宮病院 |
| 4 | 福島県 | ○ | (財)太田総合病院附属太田西ノ内病院 |
| 5 | 茨城県 | ○ | 筑波メディカルセンター病院 |
| 6 | | | 総合病院取手協同病院 |
| 7 | 群馬県 | ◎ | 前橋赤十字病院 |
| 8 | 埼玉県 | ○ | さいたま赤十字病院 |
| 9 | | ○ | 獨協医科大学越谷病院 |
| 10 | | ○ | 防衛医科大学校病院 |
| 11 | | | 春日部市立総合病院 |
| 12 | | | 医療法人社団 堀ノ内病院 |
| 13 | 千葉県 | ◎ | 千葉県救急医療センター |
| 14 | | | 帝京大学医学部附属市原病院 |
| 15 | 東京都 | ◎ | 杏林大学医学部附属病院 |
| 16 | | ○ | 青梅市立総合病院 |
| 17 | | ○ | 聖路加国際病院 |
| 18 | | ○ | 東京女子医科大学附属第二病院 |
| 19 | | ○ | 帝京大学医学部附属病院 |
| 20 | | ○ | 日本医科大学附属多摩永山病院 |
| 21 | | | 順天堂大学医学部附属順天堂医院 |
| 22 | | | 東京労災病院 |
| 23 | 神奈川県 | ◎ | 東海大学医学部附属病院 |
| 24 | | ○ | 北里大学病院 |
| 25 | | ○ | 昭和大学藤が丘病院 |
| 26 | | ○ | 聖マリアンナ医科大学病院 |
| 27 | 新潟県 | ○ | 新潟市民病院 |
| 28 | 富山県 | ○ | 厚生連高岡病院 |
| 29 | 石川県 | | 公立つるぎ病院 |
| 30 | 福井県 | ○ | 福井県立病院 |
| 31 | | | 福井大学医学部附属病院 |
| 32 | 長野県 | ○ | 長野赤十字病院 |
| 33 | 岐阜県 | ○ | 大垣市民病院 |
| 34 | 静岡県 | | 富士病院 |
| 35 | 愛知県 | ○ | 社会保険中京病院 |
| 36 | | ○ | 豊橋市民病院 |
| 37 | | ○ | 藤田保健衛生大学病院 |
| 38 | 三重県 | ○ | 三重県立総合医療センター |
| 39 | 京都府 | | 京都きづ川病院 |
| 40 | 大阪府 | ◎ | 関西医科大学附属病院 |
| 41 | | ◎ | 大阪大学医学部附属病院救命救急センター |
| 42 | | ○ | 大阪府急性期・総合医療センター |
| 43 | | ○ | 大阪府立泉州救命救急センター |
| 44 | | ○ | 大阪府立千里救命救急センター |
| 45 | | ○ | 大阪府立中河内救命救急センター |
| 46 | | ○ | 近畿大学医学部附属病院 |
| 47 | | ○ | 国立大阪病院 |
| 48 | | | (財)田附興風会医学研究所北野病院 |
| 49 | 兵庫県 | ○ | 兵庫県災害医療センター |
| 50 | 奈良県 | ◎ | 奈良県立医科大学附属病院 |
| 51 | | ○ | 県立奈良病院 |
| 52 | 和歌山県 | ○ | 和歌山県立医科大学附属病院 |
| 53 | 岡山県 | | 国立病院岡山医療センター |
| 54 | 広島県 | ○ | 県立広島病院 |
| 55 | 山口県 | ◎ | 山口大学医学部附属病院 |
| 56 | | | 国立下関病院 |
| 57 | 愛媛県 | ○ | 愛媛県立中央病院 |
| 58 | | | 愛媛大学医学部 |
| 59 | 福岡県 | ○ | 飯塚病院 |

◎: 高度救命救急センター

○: 救命救急センター

ヒト急性中毒症例データベース 症例入力サブシステム ガイドー管理編ー

1. 管理者の決定

あらかじめ、貴施設において以下の業務を担当する管理者を決定してください。

- ① データベースのインストール
- ② 各種マスター(各施設固有のデータ)の登録・管理
- ③ 入力支援(入力者との連絡、補助)
- ④ 日本中毒情報センターとの連絡(データ集約・返送、質問等)

2. データベースのインストール

- 1) データベースは以下の環境で稼動しますので、確認してください。

OS: Microsoft WINDOWS XP

アプリケーション: Access2002 (Office XP), Access2003

- 2) hitoXpV1.00.mdb を CD-ROM から使用する PC のハードディスクにコピーしてください。

複数のコンピュータで使用される場合は、先に3の要領で各種マスターを登録したのち、各コンピュータにコピーしてください。コピーしたファイルについては、ファイルの上書きを防止するために、ファイル名の最後尾に a、b、c・・・と通してアルファベットを付加してください。

* なお Microsoft Access2003 ではセキュリティ強化されているため、以下のいずれかの対策をとった上でご使用ください。
インストールしたままの状態では、機能によってエラーが出ることがあります。

・Microsoft Access2003 でセキュリティレベルを下げ、[低]に設定する (推奨)

Access2003 を開き、ツール→マクロセキュリティで[低]にする(デフォルト:[中])。

・Microsoft Jet 4.0 Service Pack 8に更新する

詳しくは、マイクロソフト社の Windows Update ホームページをご参照ください。

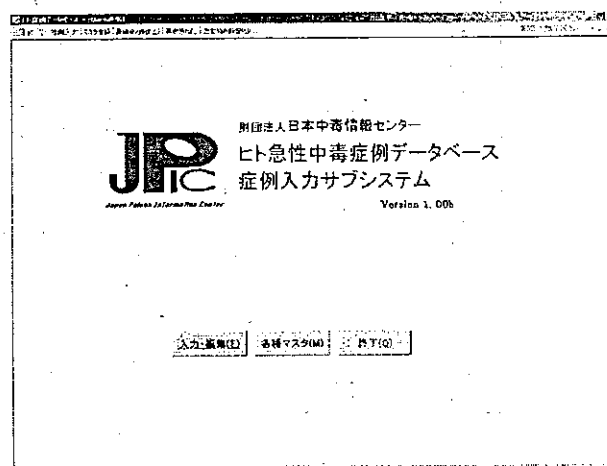
3. 各種マスターの登録・管理

初回入力前に必ずマスターの登録を行ってください。また、マスター内容に変更があった場合は、その都度登録してください。(コピーしたファイルのマスターも書き換えてください。)

なお、マスターはコードで管理していますので、変更項目は新規追加とし、既存のデータの書き換えや削除は行わないでください。

登録方法

- 1) hitoXpV1.00.mdb を開くと、右のタイトル画面が立ち上がります。



- 2) 各種マスタボタンを押すと、右の画面になります。(ctrl+Mでも可)
各ボタンを押すと、以下の登録が可能です。

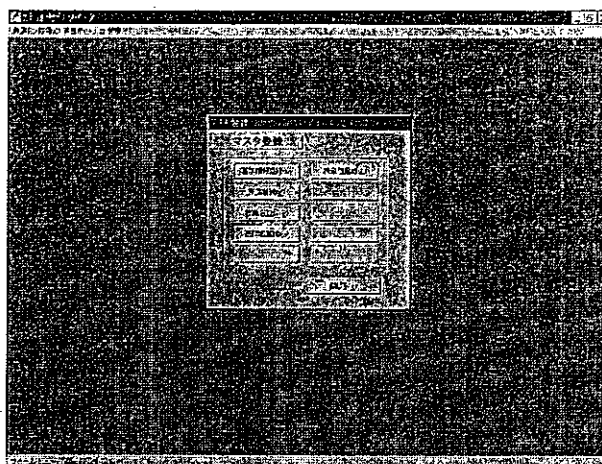
基本情報登録

所属登録

役職名登録

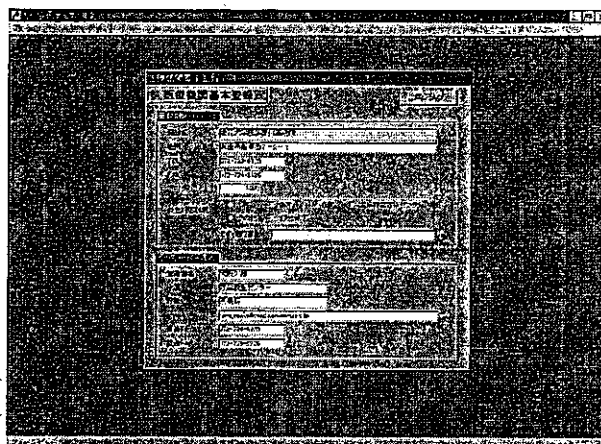
医師名登録

検査値登録



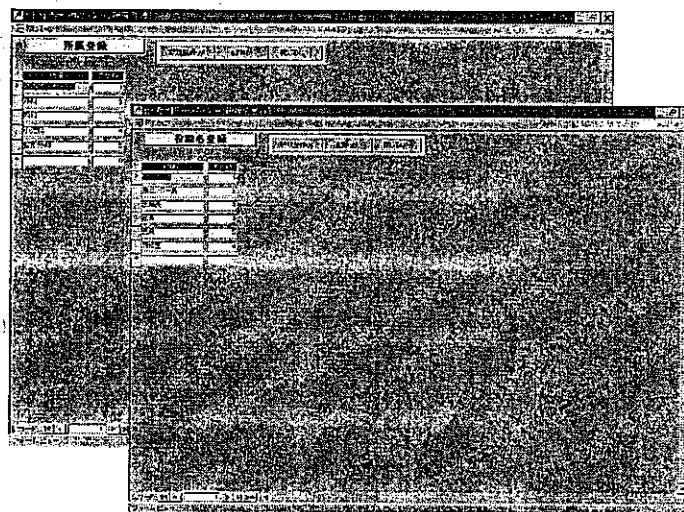
① 医療機関基本情報登録

貴施設に関する基本的な情報を登録します。
右画面の見本を参考に、入力してください。
*カーソルがある入力項目はバックが黄色に変わります。



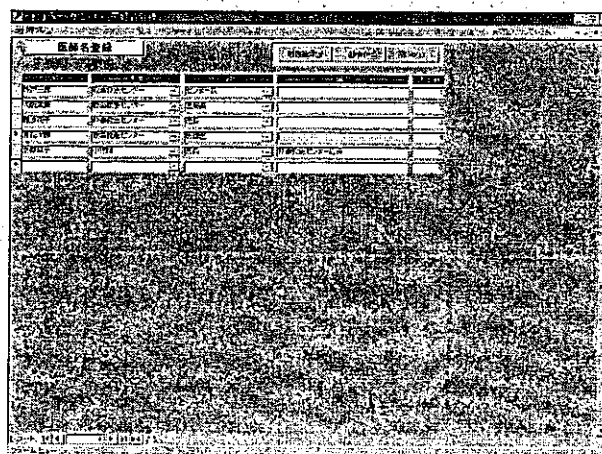
② 所属登録・役職名登録

医師名の登録に使用します。貴施設の実情に合わせて入力してください。
なお、プルダウンの並び順をここで指定することができます。



③ 医師名登録

医師名:フルネーム
所属・役職:プルダウンで選択
備考:「他科からの応援」、「当直のみ」など
該当医師に関して必要な情報があれば、入力
なお、プルダウンの並び順をここで指定することができます。



④ 検査値登録

| 検査項目 | 検査値単位 | 正常値(基準値) | 測定方法 | 測定機関 |
|-------|-------|----------|------|------|
| BUN | mg/dL | 8.0-20.0 | | |
| CREA | mg/dL | 0.6-1.2 | | |
| AST | U/L | 15-35 | | |
| ALT | U/L | 5-40 | | |
| ALP | U/L | 110-270 | | |
| CK | U/L | 40-200 | | |
| TP | g/dL | 7.0-11.0 | | |
| ALB | g/dL | 3.5-5.0 | | |
| CRP | mg/dL | 0.1-1.0 | | |
| IL6 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL8 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL10 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL12 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL17 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL18 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL20 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL21 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL22 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL23 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL24 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL25 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL26 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL27 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL28 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL29 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL30 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL31 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL32 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL33 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL34 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL35 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL36 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL37 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL38 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL39 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL40 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL41 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL42 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL43 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL44 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL45 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL46 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL47 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL48 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL49 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL50 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL51 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL52 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL53 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL54 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL55 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL56 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL57 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL58 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL59 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL60 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL61 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL62 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL63 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL64 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL65 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL66 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL67 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL68 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL69 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL70 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL71 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL72 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL73 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL74 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL75 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL76 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL77 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL78 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL79 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL80 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL81 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL82 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL83 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL84 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL85 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL86 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL87 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL88 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL89 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL90 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL91 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL92 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL93 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL94 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL95 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL96 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL97 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL98 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL99 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |
| IL100 | pg/mL | 0.1-1.0 | | |

貴施設における検査値データの基準値、測定方法、測定機関を登録します。

検査項目: 中毒でよく行われる 27 項目をあらかじめ設定、

その他、新規で 10 項目まで登録可能

検査値単位: 貴施設で使用している値を入力、

新規で入力すると、プルダウンのリストに追加することも可能

正常値(基準値): 幅表示可能

測定方法: 具体的に入力

測定機関: 該当するものにチェック

すべての登録が終了すれば、**閉じる**でタイトル画面に戻ってください。

4. 入力支援(入力者との連絡、補助)

管理者は、別紙「ヒト急性中毒症例データベース症例入力サブシステム入力ガイド 入力用」を熟読した上で、入力作業に慣れてください。

5. 日本中毒情報センターとの連絡(データ集約・返送、質問等)

入力のすんだデータは、下記担当者まで、速やかに送付をお願いします。また、ご意見・ご質問等に関しても、ご遠慮なくご連絡ください。

担当者: 財団法人日本中毒情報センター 本部事務局 ヒト中毒症例収集担当 黒木/飯田

電話: 029-856-3566 Fax: 029-856-3533

E-mail: poisoncase@j-poison-ic.or.jp

ヒト急性中毒症例データベース 症例入力サブシステム ガイダー入力編一

・基本的には全項目の入力をお願いします。どうしても入力難しい項目は空欄のままで結構です。

・漢字・ひらがな・カタカナは全角で、英数字・記号は半角で入力してください。

・このガイドでは、入力項目・入力方式・入力ボタンを次の方法で表示しています。

入力項目 : 白色のボックス内にチェックもしくはテキスト入力します。

カーソルがあるボックスは黄色に変わります。

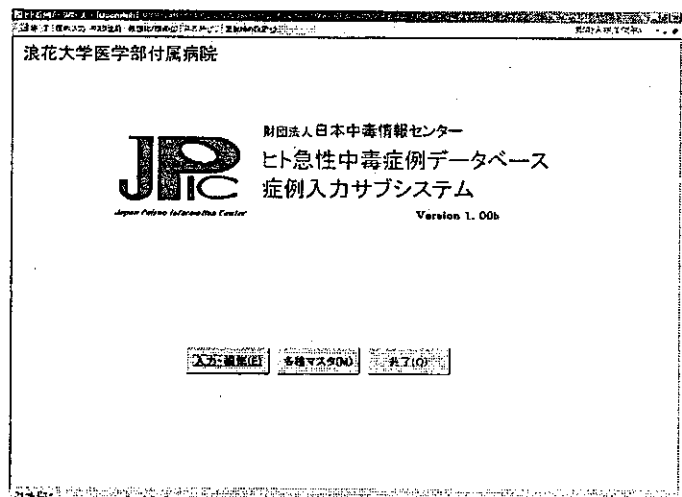
項目によっては、入力結果が水色のボックス内に自動表示されます。

入力方式 : 数値入力、テキスト入力、チェックボックスをチェック、プルダウンメニューから選択、リストボックスから選択、のいずれかの方法で入力します。

入力ボタン : ボタンをクリックするか、ctrl+(カッコ内のキー)で動作します。

入力方法

1. hitoXpV1.00.mdb を開くと、
タイトル画面が立ち上がります。



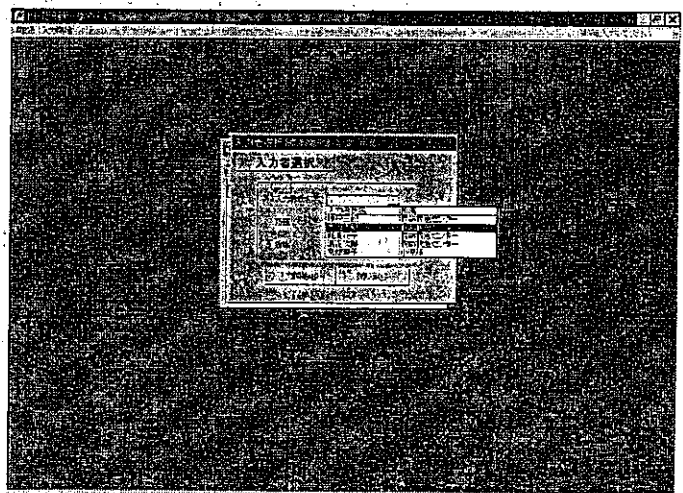
2. **入力・編集** ボタンをクリックすると、
入力者選択画面が開きます。

入力者氏名 プルダウンメニューから
選択してください。

(なければ管理編の方法
で登録してください。)

所属 登録者の所属部署が
自動表示されます。

役職 登録者の役職が
自動表示されます。



3. **入力開始**ボタンをクリックすると、症例入力画面が開きます。

・画面構成

①上: 入力を開始するためのエリアです。

- 施設名 貴施設の名称が表示されますので確認してください。
- 入力モード切替 **新規データ入力** **入力済みデータ編集** いずれかのボタンを選択してください。
デフォルトは**入力済みデータ編集**になっています。
- 識別検索 入力済みデータ編集の場合、編集すべき症例へ移動するのに使用します。
- データ処理 新規データ入力時: **登録** **キャンセル** ボタンのみアクティブです。
入力済みデータ編集時: **症例削除** ボタンのみアクティブです。
- データ出力 印刷プレビュー: 該当データについて、確認のための印刷を行います。
テキスト出力: 該当データを CSV 形式でファイル出力します。

終了

作業を終了し、タイトル画面に戻ります。

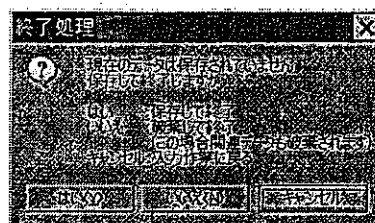
②左下: 症例ごとのエリアです。

- 入力年月日 自動表示されます。
- 主治医名: プルダウンメニューから選択してください。
(なければ管理編の方法で登録してください。)
- 所属 主治医の所属が自動表示されます。
- 入力者名 該当データを入力した人の名前が表示されます。画面を開いた際は入力済み編集モードになっているので、表示されたデータを入力した人の名前になります。新規データ入力モードにすると、入力者選択で選択した入力者氏名が反映されます。
- 入力表示切替 右下の入力エリアの表示項目を切り替えるためのボタンです。

- ③ 右中:症例ごとに識別, 性別, 年齢, 申告物質が入力内容にしたがって自動表示されます。
- ④ 右下:症例レコードの詳細入力エリアです。
左下の入力切替ボタンにより, 8画面に切り替わります。
4ページ以降で各画面の詳細について説明しますので, 指示に従って入力してください。

・新規データ入力

- 1) 入力モード切替 **新規データ入力** ボタンをクリックし, 入力を開始します。
- 2) すべての項目について入力が終了した時点で**登録**ボタンをクリックすると, 該当症例が保存されます。
- 3) つづけて別の症例を入力できます。
- 4) 作業途中で**終了**ボタンをクリックすると, 右の確認画面が開きます。
はいまたは**いいえ**を選択し, 終了します。

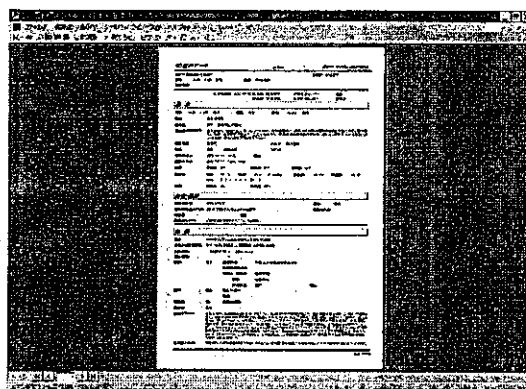


・入力済みデータ編集

- 1) 入力モード切替が**入力済みデータ編集**であることを確認します。
- 2) 識別検索で, 編集すべき症例の識別を入力し**検索**ボタンを押すと, その症例に移動します。
- 3) 修正は, 新規入力時と同じ方法で行なってください。
- 4) 入力した症例の全項目を削除するときは, データ処理の**症例削除**ボタンを使用してください。
- 5) 別の症例に移動するか, **終了**ボタンをクリックすると, データが上書き保存されます。(確認画面は開きません。)

・印刷

- 1) 入力モード切替が**入力済みデータ編集**であることを確認します。
- 2) **印刷プレビュー**ボタンを押すと, レポートが表示されます。
入力内容の確認等を行うことができます。
- 3) 印刷ボタンで印刷できます。



・テキスト出力

- 1) 入力モード切替が**入力済みデータ編集**であることを確認します。
- 2) **テキスト出力**ボタンを押すと, 右の確認画面が開きます。
- 3) **OK**を押すと, 使用中のコンピュータの C ディスクに,
8種の CSV ファイルが作成されます。



- 4. すべての作業が終了したら, **終了** **終了**でデータベースを閉じてください。

画面詳細—基本

急性中毒症データベース [症例入力]

患者名: 花井 大志郎 (花井 大志郎)

性別: 男性

年齢: 28歳

職業: 無職

発症年月日: 2003/10/10 時刻 17:00

受診年月日: 2003/10/11 時刻 12:00

症状: 嘔吐、腹痛、下痢、意識障害

既往歴: 糖尿病、高血圧

家族歴: 母、糖尿病

アレルギー: 卵アレルギー

服薬: 糖尿病薬

検査結果: 血糖値 180 mg/dL, 尿糖 (+), 尿蛋白 (-)

診断: 糖尿病性低血糖症

患者のバックグラウンドおよび中毒事故に関する情報を入力します。

識別 イニシャル、生年月日など、患者の識別が可能な範囲で適宜設定し、テキスト入力してください。

年齢 数値入力し、その確実性に関し確定・推定・歳代・不明の中から選択・チェックしてください。
20歳代としかわからない場合は、20歳と数値入力し、歳代をチェックしてください。

性別 男性・女性・不明のいずれかにチェックしてください。

体重 数値入力し、その確実性に関し、確定・推定・不明の中から選択・チェックしてください。

職業 患者の職業に関して、下記の定義を参考にプルダウンメニューから選択してください。

| 分類 | 定義 | 例 |
|----------|-----------------------------------|---------------------------------|
| 無職 | 現在、賃金労働に従事していない人 | 失業者、定年退職者、乳児 |
| 家事専従者 | 家事、子供及び配偶者の世話をしている女性または男性 | 主婦、主夫 |
| 農業従事者 | 農作物栽培、家畜飼育の仕事を行う人 | 米栽培農家、花き栽培農家 |
| 製造業従事者 | 大規模あるいは小規模で物質の抽出、加工及び製造作業に従事している人 | 工場従業員、研究所員 |
| 家内工業従事者 | 自宅において、殆どは独自の機器を用いて小規模製造に従事している人 | 内職従事者、従業員数名の鉄工所や自動車整備工場の従業員 |
| 販売業従事者 | 品物やサービスの売買を行う人 | 販売員、銀行員 |
| サービス業従事者 | 他人へサービス提供することを仕事にしている人 | 医療関係者、救急隊、警察官、鉄道関係者、運送業者、教師、事務員 |

| 分類 | 定義 | 例 |
|-----|-------------------|------------------|
| 学生 | 施設で教育課程を受けている人 | 小学生、高校生、大学生、大学院生 |
| その他 | 上記の分類に含まれない作業員 | 漁業従事者 |
| 不明 | 職業に関する情報が入手できない場合 | |

既往歴有無 無し・有り・不明のいずれかにチェックしてください。

既往歴内容 既往症がある場合、できる限り詳細にテキスト入力してください。

薬剤服用歴がわかれば、薬剤名、量、頻度、服薬期間等に関してもあわせて入力してください。

喫煙歴および飲酒歴についても入力してください。

業務上の事故の場合は、該当業務従事歴・使用薬剤名を判明した範囲で入力してください。

現病歴・曝露状況 中毒事故に関する状況等をできる限り詳細にテキスト入力してください。

発生場所 中毒事故の発生場所に関して、下記の定義を参考にプルダウンメニューから選択してください。

| 大分類 | 定義 | 例 |
|------------|---|---|
| 居住内 | 住居として使用されている場所。屋内だけでなく、庭、ベランダ、駐車場も該当。高齢者施設は除く。 | 自宅、自宅ベランダ、祖父宅庭、知人宅 |
| 仕事場 | 仕事として作業を行うための場所。農耕地(生産するための緑地)を含む。患者の職場であるとは限らない。 | 化学プラント、製鉄所、自動車修理工場、パン製造所、田、畑、ビニールハウス、企業研究所、事務所 |
| 医療施設 | 医療機関内全て。屋外も該当。 | 病院、診療所、救急車 |
| 高齢者施設 | 高齢者が生活している、あるいは介護等をうけている集団施設全て。屋外含む。 | 特別養護老人ホーム、ケアハウス、老人グループホーム、老人保健施設 |
| 学校・幼稚園・保育所 | 教育、学習、指導のための場所。校庭などの屋外も該当。 | 幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校、大学、大学院、専門学校 |
| 屋内の公共スペース | 不特定多数の人が集まる可能性のある、公共の建造物。学校は除く。 | デパート、薬局、レストラン、図書館、公民館、ホール、スポーツクラブ、空港、駅、バスターミナル、役所、銀行、ホテル、屋内駐車場、教会 |
| 車内 | 人々または物品の輸送に用いられる、輸送機関の車内。救急車を除く。 | 乗用車、トラック、バス、貨物列車、旅客列車、飛行機、ヘリコプター、グライダー、気球、タンカー、フェリー、プレジャーボート |
| 屋外 | 上記以外の屋外、遮蔽のない開放的空間。 | 公園、景勝地、川、海 |
| その他 | 上記以外の場所。 | 自衛隊敷地内、刑務所内 |
| 不明 | 場所が不明な場合 | |

場所コメント 中毒事故の発生場所に関して、上記選択肢よりも詳細な情報があれば、上の例を参考に自由にテキスト入力してください。

状況 中毒事故の発生状況に関して、下記の定義を参考にプルダウンメニューから選択してください。

| 大分類 | 中分類 | 定義 | 例 |
|-----|-----|--|---|
| 不慮 | 労災 | 患者の職場(屋外、屋内等問わない)における、業務上の作業中の事故。 農業での農業散布の場合。 (二次災害はここに入れる) | <ul style="list-style-type: none"> ・会社で実験中、手袋をしていなかったためにフッ酸が手に付着した ・清掃員が会社のトイレを掃除中、洗剤を吸ってしまった ・作業員が倉庫で荷積み中荷崩れ、中身が漏れ出して吸ってしまった ・農家の人が農業散布中、風向きが変わり、少量吸ってしまった ・高速道でタンクローリーが横転、運転者がガスを吸った ・工場から有毒ガスが漏れ出し、従業員が吸入した ・工場から有毒ガスが漏れ出し、周辺警備の警察官が吸入した ・民家が火事になり、消防士が消火作業中に有毒ガスを吸入した ・看護師が中毒患者の治療中、二次汚染を受けた |